

株式会社 日本政策金融公庫 御中

住 所  
商号又は名称  
代 表 者 名

事業計画書（挑戦支援資本強化特別貸付用）

1 事業計画の内容

半導体メーカー及び下請企業が活用する、ICチップの設計にかかるソフトウェアを開発・販売する。

2 商品・サービスの特性

・これまでに設計したICチップの情報（約5,000種類。インターネットによる自動更新で最新情報が取得可能）を画面上に示すことで、設計工程を大幅に短縮化できる。  
・導入費用が500千円と競合商品（1,000千円）に比べ、安価な価格設定となっている。

3 競合すると考えられる商品・サービス

・○○○○○○○○社（製品名：□□□□□□□）【△△△県×××市】  
・◎◎◎◎◎◎◎社（製品名：☆☆☆☆☆☆☆☆）【▲▲▲県★★★市】

4 必要な資金と調達方法

（単位：千円）

必要な資金		金額	調達の方法	金額
設備資金	店舗、工場、機械、備品、車両など (内訳)	10,000	自己資金	2,000
	・パソコン（システム開発用）	7,600	親、兄弟、知人、友人等からの借入 (内訳・返済方法)	1,000
		・システム開発用ソフトウェア	2,400	日本政策金融公庫 国民生活事業 からの借入
			うち、挑戦支援資本強化特別貸付	8,000
			他の金融機関等からの借入 (内訳・返済方法)	3,000
運転資金	商品仕入、経費支払資金など (内訳)	7,000	・△△信用金庫	3,000
	・広告宣伝費	3,000	ベンチャーキャピタル等からの出資	3,000
	・量産化仕入費用	4,000		
合 計	17,000	合 計	17,000	

5 挑戦支援資本強化特別貸付を必要とする理由

新事業に必要な技術に関する特許を取得し、既に試作品は完成している。販売計画を立てたものの軌道に乗せるためには更なる設備投資等が必要である。収益の柱に育つまで少しでも支出を抑えたいため、挑戦支援資本強化特別貸付の利用を希望する。

6 業績推移と今後の計画

(単位:千円)

	前期実績	今期見込	計画1期目	計画2期目	計画3期目	最終目標
	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)
売上高	52,860	50,000	55,000	65,000	65,000	70,000
売上原価	9,260	9,000	9,000	10,500	10,200	10,200
うち減価償却費	300	300	300	300	300	300
売上高総利益	43,600	41,000	46,000	54,500	54,800	59,800
販売管理費	43,330	44,900	47,900	49,900	49,900	49,900
人件費	23,320	23,000	25,000	26,000	26,000	26,000
うち役員報酬	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
減価償却費	300	300	300	300	300	300
営業利益	270	-3,900	-1,900	4,600	4,900	9,900
営業外収益	300	300	300	300	300	300
営業外費用	0	0	0	0	0	0
経常利益	570	-3,600	-1,600	4,900	5,200	10,200
特別損益	0	0	0	0	0	0
法人税等	285	0	0	0	2,600	5,100
当期利益	285	-3,600	-1,600	4,900	2,600	5,100

7 借入金・社債の期末残高推移 (※協調支援予定を含む。)

(単位:千円)

調達先	前期実績	今期見込	計画1期目	計画2期目	計画3期目	最終目標	
	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	(年 月期)	
既存借入金	〇〇銀行	9,250	7,750	6,250	4,750	3,250	0
	△△信用金庫			3,000	2,400	1,800	0
	公庫			8,000	8,000	8,000	0
小計	9,250	7,750	17,250	15,150	13,050	0	
社債							
新規借入金		11,000					
合計	9,250	18,750	17,250	15,150	13,050	0	

(公庫処理欄)


(令和7年3月)